

# カナダ・マリ共和国の ホストタウン盛岡

東京2020オリンピック・パラリンピック(以下、東京2020)のホストタウン相手国であるカナダとマリ共和国を応援しましょう!

【問】スポーツツーリズム推進室 ☎ 603-8009

## 2 カナダとのつながり

### ホストタウン登録への経緯

市出身で国際連盟事務局次長を務めた新渡戸稲造博士の終焉の地という縁により、盛岡市とカナダ・ビクトリア市は、1985年(昭和60年)に姉妹都市提携を交わしました。

それから30年以上にわたって幅広い分野で活発な姉妹都市交流を続けてきた実績と、事前キャンプの誘致活動の取り組みが認められ、ホストタウンに登録されました。

首都	オタワ
面積	998万4670平方* <sub>0</sub> km <sup>2</sup> (世界2位)
人口	約3759万人
日本との時差	13時間
公用語	英語・フランス語

Hello!  
Bonjour!



水球カナダチームによる水球教室 ラグビーカナダチームによるラグビー教室

### カナダチームへのビデオレター

新型コロナウイルス感染症の影響でカナダ代表チームと直接交流ができない中、ビデオレターによる交流を続けています。

これまでのビデオレターによる交流はこちら ▶



Message #7 from Morioka  
Power of Friends  
盛岡市からカナダチームへのメッセージ 第7弾

## 4 東京2020事前キャンプ

日程など決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止になることがあります

事前キャンプは、国の求める感染症対策を徹底し、市民との接触を回避するため、ホテルのフロアや練習会場を貸し切るなどをした上で実施します。

代表	人数	日程	使用施設
水球カナダ(女子)	25人	7月8日(木)~20日(火)	市立総合プール(本宮五)
クライミングカナダ(男子・女子)	3人	7月21日(水)~28日(水)	県営運動公園(みたけ一)
ラグビーカナダ(男子・女子)	チームの都合により事前キャンプは中止になりました。		
柔道マリ	東京2020に出場できないため、事前キャンプは中止になりました。		

## 1 ホストタウンとは

地方自治体が東京2020に参加する特定の国や地域と連携し、スポーツや文化など幅広い分野で相互交流をする取り組みです。市は、2016年(平成28年)にカナダの、2019年(令和元年)にはマリ共和国のホストタウンとして登録されました。東京2020では、カナダの水球やスポーツクライミングの代表チームが事前キャンプで盛岡を訪れる予定です。

## 3 マリ共和国とのつながり

### ホストタウン登録への経緯

アフリカ西部に位置するマリ共和国への支援活動に尽力してきた「カラ西アフリカ農村自立協会」の代表である村上一枝さんが、東京盛岡ふるさと会の会員であり、県立盛岡第二高の卒業生であるという縁により、ホストタウンに登録されました。

東京2020をきっかけとした市とマリ共和国の交流と今後の活動への期待を込めて認定されました。

首都	バマコ
面積	124万平方* <sub>0</sub> km <sup>2</sup> (日本の約3.3倍)
人口	約1966万人
日本との時差	9時間
公用語	フランス語

Bonjour!



盛岡第二高の生徒によるアートマイル壁画の制作 マリの音楽を楽しむタベ

### マリ共和国 学校建設プロジェクト

盛岡青年会議所は、市がマリ共和国のホストタウンに認定されたことをきっかけに、マリ共和国に女性のための識字教育をする学校を建設するプロジェクトを実施しました。

クラウドファンディングなどで目標額の100万円を超える寄付金が集まり、カラ西アフリカ農村自立協会を通じて、マリ南部にあるクリコロ県シラブレ村に学校を建設しました。

マリの人たちが学んでいる様子

## 5 ホストタウン相手国のチームをオリンピックで応援しよう!

### 水球 カナダ

水球はハンドボールに似た、水中で行われるスポーツです。試合中は選手同士の激しいぶつかり合いが繰り返され、水中の格闘技ともいわれています。

水球カナダは、世界でもトップクラスの実力を持ち、メダル獲得が期待されています。

同チームは2018年(平成30年)にも市内で合宿しており、今回で2度目の来盛になります。



選手同士の激しいぶつかり合い

### ラグビー カナダ

東京2020のラグビー競技は7人制です。少ない人数で実施されることから、15人制よりスピーディーに試合が展開するところが見どころです。

ラグビーカナダ女子は、前回のリオデジャネイロオリンピックで銅メダルに輝くなど、今回の東京2020でもメダル候補の強豪です。

同チームは2019年(令和元年)に市内で合宿をしており、子どもたちとラグビーを通じて交流した縁があります。



### クライミング カナダ

スポーツクライミングは、ボルダリング、リード、スピードの3種目の総合成績で争います。持久力と瞬発力の両方が必要で、到達点は同じでも選手一人一人の登り方に個性があり、壁の高さと登る速さなどが異なる3種目の登はん技術は見る側も楽しめます。クライミングカナダは、2017年(平成29年)にも市内で合宿しており、今回で2度目の来盛になります。



### マリ共和国

ホストタウンをきっかけにマリ共和国との交流が始まりました。水泳と陸上、テコンドーで東京2020出場権を獲得しており、活躍が期待されます。

## 6 市内の子どもが選手たちを歓迎します!

### 折り鶴でホストタウン相手国の国旗を制作

歓迎と活躍への期待、応援を込めた折り鶴を市内の小学生が作成し、国旗の形にして事前キャンプの時にプレゼントします。



喜んでくれたらいいな

遠い場所からこんな大変な時期に来た選手の方々に競技を頑張ってもらいたいという思いを込めて折りました。きれいな折り鶴で作った国旗をプレゼントしたいです。

平田 ジェレイス  
アジエラさん  
(白百合小5年)



盛岡白百合学園小での折り鶴作成の様子

### のぼり旗に歓迎と応援メッセージを書いて選手たちを応援!

市内の中・高生が、歓迎と応援の気持ちを込めてのぼり旗を作成。英語やフランス語で「盛岡に来てくれてありがとう」や「試合頑張ってください」などのメッセージやイラストを書き込みました。完成したのぼり旗は各チームの練習会場に飾られます。



土瀬中でののぼり旗作成の様子

実際に作成したのぼり旗

盛岡に来た選手たちを応援する気持ちが伝わればいいなと思いながらメッセージを書きました。

佐々木 千央真さん  
(土瀬中1年)

もう一度盛岡を訪れてほしいという思いを石割桜のイラストに込めました。

阿部 柚さん  
(住瀬中1年)

